

主要科目の目標、特長

(外国語学部／英語コミュニケーション学科／国際ビジネスコミュニケーション専攻／国際ビジネスコース)

授業科目の名称	目 標	特 長
Communicative English	This class provides a supportive atmosphere for students to practice the vocabulary and conversation patterns necessary to communicate in English. These smaller classes (around 20 students) introduce and review phrases that are appropriate for dozens of situations. Students gain the tools and the confidence to communicate verbally in English.	Attendance and participation in every class is important. Communicative activities include listening/speaking exercises, role-plays, and games. Be prepared to speak English in this class at all times.
キャリアプラン I	自分らしいイキイキとした生き方をデザインするための基礎を創る。 ①文京生として清々しいマナーを心得実践できる ②大学生活のスタートとして、「やる気」と「意識」を高めることができる ③社会人として必要な社会人基礎力を理解し実践できる ④自己理解を通し、自身の将来のキャリアをデザインできる	経済産業省が提唱する社会人基礎力、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）を丁寧で育成することにより、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を身に付ける。各自の能力を發揮するために、自己を認識して振り返りながら、将来の目的、現在の学びを統合することにより、自らのキャリアを切り開く糧とする。
初年次セミナー	英語スキル系科目、教養科目、情報処理科目、第二外国語科目、基礎科目等の導入・補完的役割を果たしており、以下の4つの柱がある。 ①学習上の技能向上に資するもの ②英語スキル向上に資するもの ③大学生活全体を見通した学習プランの作成チェック ④大学生としての生活と倫理的なもの 上記にそれぞれ記載された学習上の知識・技能・スキルの修得等を目指とする。	グループアドバイザー（教員）が全体講義および課題を中心に、前週の講義のフォローアップを行う。グループプレゼンテーションあるいはグループディスカッションを行い、チームワークの育成、学習意欲の維持も目指す。
国際ビジネスコース概論	国際ビジネスコースの専門科目へのイントロダクション的な科目として位置付けられる。本科目においては、履修学生が、国際ビジネスコース所属の教員が専門としている分野（経営、経済、ビジネス戦略・マーケティング、観光、法、IT、国際政治経済など）について、概論的な話を聞くことによって、多角的な面からビジネスを見る力を養うとともに、本講義で学んだことを卒業研究のテーマ設定に活かすことを目標とする。	国際ビジネスコースの担当教員によるオムニバス形式の講義が中心となる。
ビジネスライティング	履修する学生が、社会人、特にビジネスにおいて活躍するビジネスパーソンが理経しておくべき、ビジネス英語を理解できるようになることをこの授業の到達目標とする。現実のビジネス社会では、メール、ビジネスレター、一対一の電話での会話、複数の参加者がある電話会議、など様々な状況で英語を使つての有効なコミュニケーションが求められます。履修する学生が、これらの状況に応じた表現方法を用いてコミュニケーションできるようになることも併せて、この授業の到達目標とします。	TOEICの過去問なども活用しながら、Reading、短文空所補充問題、長文空所補充問題の課題を中心に、読む力、書く力、文章力を養い、毎回、小テスト、ビジネス文書作成を課題としている。

主要科目の目標、特長

(外国語学部／英語コミュニケーション学科／国際教養コミュニケーション専攻／国際協力コース)

授業科目の名称	目 標	特 長
Communicative English	This class provides a supportive atmosphere for students to practice the vocabulary and conversation patterns necessary to communicate in English. These smaller classes (around 20 students) introduce and review phrases that are appropriate for dozens of situations. Students gain the tools and the confidence to communicate verbally in English.	Attendance and participation in every class is important. Communicative activities include listening/speaking exercises, role-plays, and games. Be prepared to speak English in this class at all times.
キャリアプラン I	自分らしいイキイキとした生き方をデザインするための基礎を創る。 ①文京生として清々しいマナーを心得実践できる ②大学生活のスタートとして、「やる気」と「意識」を高めることができる ③社会人として必要な社会人基礎力を理解し実践できる ④自己理解を通し、自身の将来のキャリアをデザインできる	経済産業省が提唱する社会人基礎力、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）を丁寧に育成することにより、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を身に着ける。各自の能力を発揮するために、自己を認識して振り返りながら、将来の目的、現在の学びを統合することにより、自らのキャリアを切り開く糧とする。
初年次セミナー	英語スキル系科目、教養科目、情報処理科目、第二外国語科目、基礎科目等の導入・補完的役割を果たしており、以下の4つの柱がある。 ①学習上の技能向上に資するもの ②英語スキル向上に資するもの ③大学生活全体を見通した学習プランの作成チェック ④大学生としての生活と倫理的なもの 上記にそれぞれ記載された学習上の知識・技能・スキルの修得等を目標とする。	グループアドバイザー（教員）が全体講義および課題を中心に、前週の講義のフォローアップを行う。グループプレゼンテーションあるいはグループディスカッションを行い、チームワークの育成、学習意欲の維持も目指す。
国際協力コース概論	地球市民として知っておくべきグローバルな課題について基礎知識を学び、国際協力に関わる様々なアクターとそのアプローチの有効性について分析できるようになることを目的とし、以下の4点を達成目標とする。 1. 地球市民として求められる国際協力の基礎知識を得ることができる。 2. グローバル化とともに広がる貧困と格差、相互依存や地球規模の課題を学び、国際協力の必要性を理解できるようになる。 3. 国際機関、政府、NGO、企業など国際協力の担い手（アクター）の役割とその取り組みの成果を理解できるようになる。 4. 環境、ジェンダー、人権、など異なる角度から国際協力を学び、より良い国際協力のあり方を考察できるようになる。	国際協力の概要について、その歴史、主要な分野における取組（教育、保健医療、経済開発、農業、平和構築等）について現状と課題をデータや視聴覚資料による講義で学ぶ。また毎回、グループディスカッション、クラスへのプレゼンテーションを行うことで、自分自身で課題を考え、他者に説明できることを目指す。

ジェンダーと開発	発展途上国の開発課題の中で、ジェンダーに基づく課題について基礎知識を学び、ジェンダーの視点から分析する能力を習得することを目標とする。発展途上国で生じている課題を記述し、ジェンダー視点から要因や課題への取り組みを分析し、改善策を提案できることを目指す。	発展途上国で生じている開発課題について、教育、保健医療、経済活動、貧困対策、農業、女性に対する暴力など分野別に取り上げ、データや映像を使った講義を行う。毎回、グループごとに事例を読み解きディスカッションをし、クラスでのプレゼンテーションを行う。
----------	--	--

主要科目の目標、特長

(外国語学部／英語コミュニケーション学科／国際教養コミュニケーション専攻／英語教育コース)

授業科目の名称	目 標	特 長
Communicative English	This class provides a supportive atmosphere for students to practice the vocabulary and conversation patterns necessary to communicate in English. These smaller classes (around 20 students) introduce and review phrases that are appropriate for dozens of situations. Students gain the tools and the confidence to communicate verbally in English.	Attendance and participation in every class is important. Communicative activities include listening/speaking exercises, role-plays, and games. Be prepared to speak English in this class at all times.
キャリアプラン I	自分らしいイキイキとした生き方をデザインするための基礎を創る。 ①文京生として清々しいマナーを心得実践できる ②大学生活のスタートとして、「やる気」と「意識」を高めることができる ③社会人として必要な社会人基礎力を理解し実践できる ④自己理解を通し、自身の将来のキャリアをデザインできる	経済産業省が提唱する社会人基礎力、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）を丁寧で育成することにより、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を身に着ける。各自の能力を発揮するために、自己を認識して振り返りながら、将来の目的、現在の学びを統合することにより、自らのキャリアを切り開く糧とする。
初年次セミナー	英語スキル系科目、教養科目、情報処理科目、第二外国語科目、基礎科目等の導入・補完的役割を果たしており、以下の4つの柱がある。 ①学習上の技能向上に資するもの ②英語スキル向上に資するもの ③大学生活全体を見通した学習プランの作成チェック ④大学生としての生活と倫理的なもの 上記にそれぞれ記載された学習上の知識・技能・スキルの修得等を目標とする。	グループアドバイザー（教員）が全体講義および課題を中心に、前週の講義のフォローアップを行う。グループプレゼンテーションあるいはグループディスカッションを行い、チームワークの育成、学習意欲の維持も目指す。
英語教育コース概論	英語教育コースの専門科目に進むための導入的位置づけとなる科目である。 ①日本の小・中・高・大における国際・英語教育の教育理念、カリキュラム（教育内容）、教育方法、教育評価など ②コミュニケーション重視の英語学習理論、英語教材開発法など ③英語の仕組みと運用に関する深い理解 上記①～③の基礎知識を身につけることを到達目標とする。	英語教育コースの担当教員を中心とするオムニバス形式授業である。履修者が多いため主に講義形式になるが、出来る限り討議しながら授業を進める。授業では、プリント資料とスライドを用いながら、具体例を挙げて分かりやすく解説する。
児童英語教育論	児童英語教育の現状と課題をはじめ、この分野の基礎理論について学ぶ。小学校英語活動の目標・教育内容と方法、評価の在り方と方法等に関する基礎的知識を具体的に身につけることを目標とする。	先行研究の資料を参考に、積極的な討議形式で授業を行う。

主要科目の目標、特長

(外国語学部／英語コミュニケーション学科／国際教養コミュニケーション専攻／国際文化コース)

授業科目の名称	目 標	特 長
Communicative English	This class provides a supportive atmosphere for students to practice the vocabulary and conversation patterns necessary to communicate in English. These smaller classes (around 20 students) introduce and review phrases that are appropriate for dozens of situations. Students gain the tools and the confidence to communicate verbally in English.	Attendance and participation in every class is important. Communicative activities include listening/speaking exercises, role-plays, and games. Be prepared to speak English in this class at all times.
キャリアプラン I	自分らしいイキイキとした生き方をデザインするための基礎を創る。 ①文京生として清々しいマナーを心得実践できる ②大学生活のスタートとして、「やる気」と「意識」を高めることができる ③社会人として必要な社会人基礎力を理解し実践できる ④自己理解を通し、自身の将来のキャリアをデザインできる	経済産業省が提唱する社会人基礎力、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）を丁寧育成することにより、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を身に着ける。各自の能力を發揮するために、自己を認識して振り返りながら、将来の目的、現在の学びを統合することにより、自らのキャリアを切り開く糧とする。
初年次セミナー	英語スキル系科目、教養科目、情報処理科目、第二外国語科目、基礎科目等の導入・補完的役割を果たしており、以下の4つの柱がある。 ①学習上の技能向上に資するもの ②英語スキル向上に資するもの ③大学生活全体を見通した学習プランの作成チェック ④大学生としての生活と倫理的なもの 上記にそれぞれ記載された学習上の知識・技能・スキルの修得等を目標とする。	グループアドバイザー（教員）が全体講義および課題を中心に、前週の講義のフォローアップを行う。グループプレゼンテーションあるいはグループディスカッションを行い、チームワークの育成、学習意欲の維持も目指す。
国際文化コース概論	3年次におけるゼミナール履修に向けての「導入」として位置づけられる科目である。国際文化コースのゼミナール担当教員が、それぞれの専門（イギリス文学、イギリス史、アメリカ政治、アメリカ文学、日本思想、日本語学）とゼミナールの内容について講義を行う。ゼミの選択を念頭に、自身の専門を模索しながら、物事を多角的に捉え、考える力を養うことを目標とする。	オムニバス形式で行う。
American Government	アメリカ社会はいろいろな問題をかかえ、その解決をめざして、市民が対立と合意のプロセスをくりかえしている。このプロセスにおける団体や政党のかかわり、議会、大統領、最高裁の役割、合衆国憲法は問題の解決に役立つのか、など基本的な問題を学び、アメリカ社会の理解を深めることを目標とする。	アメリカの政治、経済、社会の仕組みについて、わかりやすく説明する。画像を含めたスライド（パワーポイント）を使用し、毎回の講義をすすめる。またスライドについては、プリントアウトし配布する。